

一般會務報告

昭和五年度大會決議事項の執行



一、自主的労働組合法獲得闘争の件

本議案は關東同盟大會及總同盟全國大會或は社會民衆黨大會に於て可決決定を見、總同盟は社會民衆黨と協力し全國的に獲得闘争を巻き起した。同時に、労働組合法壓殺の爲めに狂奔した財閥の巨頭、郷誼之助、團琢磨、及び工業俱樂部に對し、其の壓殺の元兇葬れの運動をも敢行した。七月五日紡織各支部代表者を以て、内務大臣を訪問左記決議文を手交し抗議した。

決議文

現政府があらゆる輿論の反對を押し切て斷行した萬年賃金解雇と所謂資本家本位の産業合理化の進行は、遂に未曾有の不景氣の襲來となり、失業者の洪水を街頭に放り出し、今日我が國産業と、數百萬の労働階級の生活は一大危機に當面しつつある。我等は一刻も早く、自主的労働組合法を制定し、團結權の自由、罷業權の確立及労働組合の政治行

二、相互罷業金庫充實の件

未加入支部に對し即時加入を勧告し、同時に加盟支部に對しては、その充實の必要を徹底し、より効果的に積極的な活用を促し來たが、未だ全支部の加入を見ざるは甚だ遺憾である。併し全體的に漸次、徹底し擴充されつつあるは喜ぶべき傾向である。

支部名	金額	支部名	金額
沼津支部	三四九、二九	八王子支部	
川崎支部	一一八、五〇	保土ヶ谷支部	
橋場支部	一〇、二五	友禪工支部	
請地支部	一〇五、三六	吾嬬支部	
龜戸支部	一、八〇	沼津第二支部	
平塚支部	一三五、四〇	本部	四六七、五一
計	一、一八六、三一	加盟支部	六支部
罷業金庫總金額	二〇、四九〇、四三		

三、日本労働會館建設運動の件

勤の自由を獲得し、以て労働階級の生活を防衛すると共に健全なる産業再建の基礎たらしむる事を要求する。然るに資本家團體は保守的なる社會局案に對してすら、階級的對立の思想を激成するものなりと譴ひ、労働組合法案壓殺の爲めの全國的資本閥の示威運動は、明かに労働階級に對する露骨なる挑戦である。我等は一切の勢力を集中し此挑戦に對し必死的闘争の決意を有するものである。

石決 議 十

昭和五年七月 日本労働總同盟 紡織労働組合

内務大臣 安達謙藏殿

然るに政府は、遂に資本家に屈服し労働組合法をして言下し、軍議調停法の改悪と同時に、五十九議會に提出し我等は之に對し院内に於ては、片山、西尾兩代議士を通じて院外に於ては、三月一日社會民衆黨人同盟と共同戦線

日本労働會館建設運動が關東同盟大會に於て決定されてから滿三年、組合員の努力にもかゝらず、深刻なる不景氣に當面したる爲め、豫期の成蹟を收め得なかつた事は誠に残念であつた。併し第一期として、現在の建物及土地の買収を計畫し、建設委員及松岡建設委員長の熱心と努力に遂に、東京建物會社より四萬圓を以て買収し同時に、現本部の根本的修築改造に着手し其の完成を見た。吾が紡織労働組合はそれを使用する最初の光榮を得た譯である。

土地坪數	坪數	外二階	坪數
土地坪數	三五一坪三三勺		
建坪概數	一二九坪三六勺	外二階	一一〇坪
大講堂、事務室、圖書室、教室、應接室、娛樂室、休憩室、委員會室、理事會室等十三室			
外に留守番居住室			
土地建物			
買 收	金四〇、〇〇〇、〇〇〇		
改 築 費 用	金一一、〇〇〇、〇〇〇		
什器及設備費その他	金 九四六、四三三		
計	金五一、九四六、四三三		
寄附中込金總額	金三七、三六三、六八八		
同 額 收 金 額	金二九、七五七、八六六		
借 用 金 額	金二四、五〇〇、〇〇〇		
計	金五四、二五七、八六六		